

乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 23 年 12 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 2）

乗鞍高原（乗鞍岳の東北東 7 km）に設置にしてある遠望カメラでは、悪天候のため不明の期間がありますが、その他の期間は山頂部に噴気は認められませんでした。

・ 地震活動（図 3、図 4※）

14 日から 17 日にかけて、乗鞍岳の北東約 1 km 付近を震源とする地震が増加しました。それ以外の期間では発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動や低周波地震は観測されませんでした。

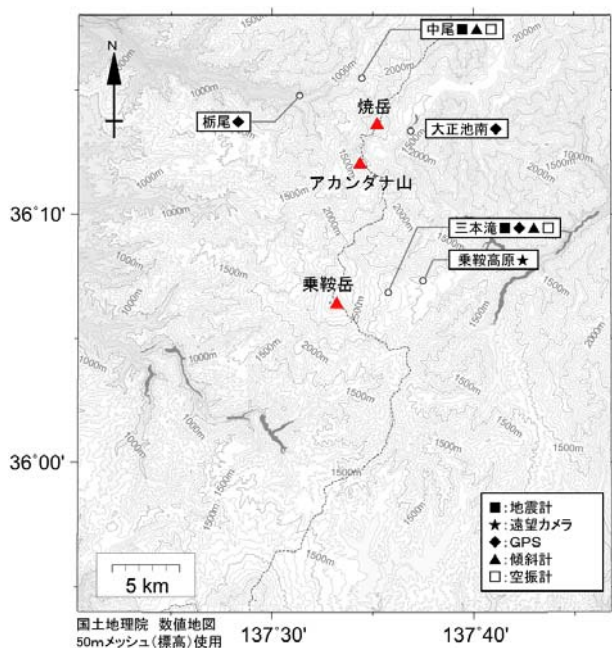


図 1 乗鞍岳 気象庁の観測点配置



図 2 乗鞍岳 山頂部の状況
(12 月 13 日 乗鞍高原遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 1 月分）は平成 24 年 2 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

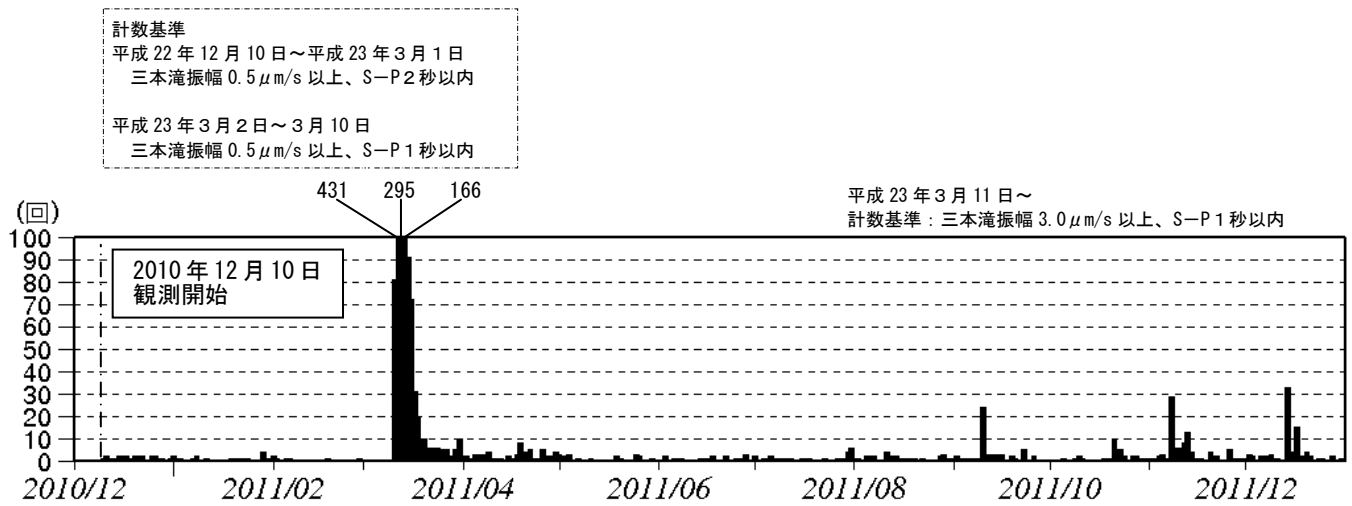


図3 乗鞍岳周辺の日別地震回数（2010年12月10日～2011年12月31日）

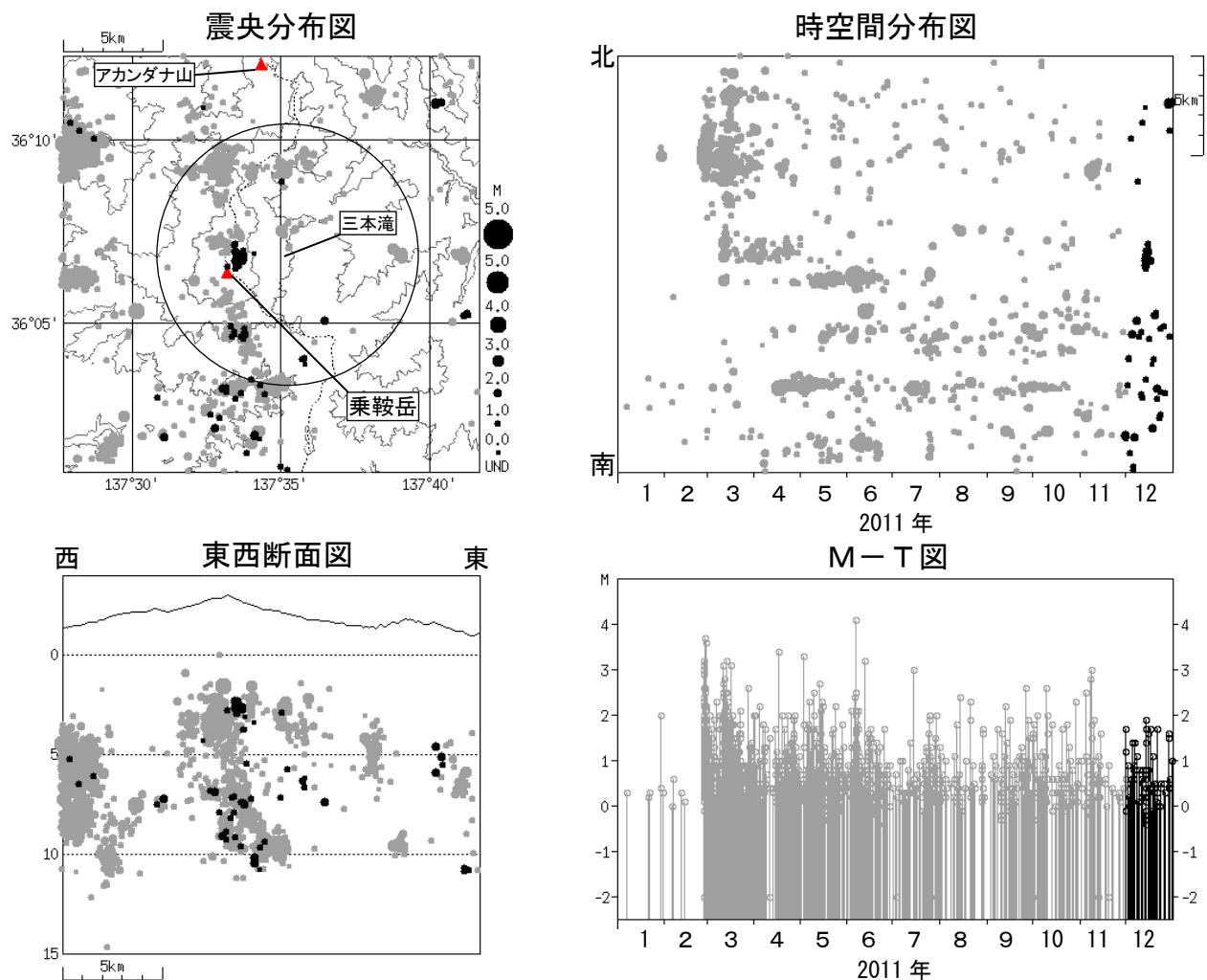


図4※ 広域地震観測網による乗鞍岳周辺の地震活動（2011年1月～12月）

●：2011年1月1日～11月30日

●：2011年12月1日～12月31日

震央分布図中の円は図3の計数対象地震（三本滝でS-P時間1秒以内）のおよその範囲。

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

3月～5月分は一部未処理の期間があります。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。